



SIP フェデレーションに関する外部サーバコンポーネントの設定

- [SIP フェデレーションを行うための Microsoft コンポーネントの設定, 1 ページ](#)
- [AOL との SIP フェデレーションの要件, 6 ページ](#)

SIP フェデレーションを行うための Microsoft コンポーネントの設定

次の表は、Microsoft のサーバでフェデレーションを設定するための簡単なチェックリストです。OCS サーバおよびアクセスエッジサーバの設定および導入の詳細な手順については、Microsoft の文書を参照してください。

表 1: Microsoft コンポーネントの設定タスク

サーバ	タスク	手順
OCS サーバ	グローバル フェデレーション設定の有効化	<ol style="list-style-type: none"> 1 左側のペインのグローバルフォレストブランチで、[プロパティ (Properties)] > [グローバルプロパティ (Global Properties)] > [フェデレーション (Federation)] の順に選択します。 2 [フェデレーションとパブリック IM 接続を有効にする (Enable Federation and Public IM Connectivity)] をオンにします。 3 アクセス エッジ サーバの内部インターフェイスの FQDN およびポート番号を入力します。
	アクセス エッジ サーバのアドレスの設定	<ol style="list-style-type: none"> 1 左側のペインのグローバルフォレストブランチで、[プロパティ (Properties)] > [グローバルプロパティ (Global Properties)] > [エッジサーバ (Edge Servers)] の順に選択します。 2 [アクセスエッジサーバと Web 電話会議エッジサーバ (Access Edge and Web Conferencing Edge Servers)] ウィンドウで、[追加 (Add)] をクリックします。 3 アクセス エッジ サーバの内部インターフェイスの FQDN を入力します。
	各フロントエンドのフェデレーション設定の有効化	<p>フェデレーションを行うフロントエンドサーバごとに、フェデレーション設定を有効化する必要があります。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 左側のペインのフロントエンドサーバで、[プロパティ (Properties)] > [フロントエンドのプロパティ (Front End Properties)] > [フェデレーション (Federation)] の順に選択します。 2 [フェデレーションとパブリック IM 接続を有効にする (Enable Federation and Public IM Connectivity)] をオンにします。
	ユーザが MOC (Microsoft Office Communicator) およびフェデレーションを必ず使用できるようにする	

サーバ	タスク	手順
		<ul style="list-style-type: none">• [ユーザ (Users)] タブで、ユーザが MOC を必ず使用できるようにします。• ユーザがこのリストにない場合、管理者は Microsoft Active Directory でユーザが MOC を使用できるようにする必要があります。• また、Microsoft Active Directory でユーザがパブリック IM 接続を使用できるようにする必要があります。 次の URL にある Microsoft Active Directory の文書を参照してください。http://technet2.microsoft.com/windowsserver/en/technologies/featured/ad/default.aspx

サーバ	タスク	手順
アクセスエッジサーバ	DNS の設定	Microsoft の企業配置では、ポート 5061 ですべてのアクセスエッジサーバに対して、_sipfederationtls._tcp.<domain> をポイントする外部 SRV レコードを設定する必要があります。ここで、<domain> は組織の SIP ドメインの名前です。この SRV は、アクセスエッジサーバの外部 FQDN をポイントしている必要があります。
	IM プロバイダとしての IM and Presence の設定	<ol style="list-style-type: none"> 1 外部アクセスエッジサーバで、[スタート (Start)] > [管理ツール (Administrative Tools)] > [コンピュータの管理 (Computer Management)] を選択します。 2 左側のペインで [Microsoft Office Communications Server 2007] を右クリックします。 3 [IM プロバイダ (IM Provider)] タブをクリックします。 4 [追加 (Add)] をクリックします。 5 [この IM サービス プロバイダを許可する (Allow the IM service provider)] をオンにします。 6 IM サービス プロバイダ名 (例、IM and Presence サーバ) を定義します。 7 IM サービス プロバイダのネットワーク アドレス (この場合、IM and Presence サーバのパブリック FQDN) を定義します。 8 IM サービス プロバイダが [パブリック (public)] とマークされていないことを確認します。 9 フィルタ オプション、[このプロバイダとのすべての通信を許可する (Allow all communications from this provider)] オプションをクリックします。 10 [OK] をクリックします。 <p>IM and Presence の企業配置では、ポート 5061 で _sipfederationtls._tcp.<CUP_domain> をポイントする DNS SRV レコードを設定する必要があります。ここで、<CUP_domain> は IM and Presence ドメインの名前です。この DNS SRV は、IM and Presence サーバのパブリック FQDN をポイントしている必要があります。</p>
	アクセス方法の設定の確認	

サーバ	タスク	手順
		<ol style="list-style-type: none"> 1 コンソールツリーで [Microsoft Office Communications Server 2007] を右クリックします。 2 [プロパティ (Properties)] > [アクセス方法 (Access Methods)] の順にクリックします。 3 [フェデレーション (Federation)] をオンにします。 4 DNS SRV を使用する場合は、[検出を許可する (Allow discovery)] をオンにします。
	TLSv1 を使用するようアクセスエッジを設定する	<ol style="list-style-type: none"> 1 [スタート (Start)] > [管理ツール (Administrative Tools)] > [ローカルセキュリティポリシー (Local Security Policy)] の順に選択して、ローカルセキュリティポリシーを開きます。 (注) これをドメインコントローラで設定する場合は、パスが [スタート (Start)] > [管理ツール (Administrative Tools)] > [ドメインコントローラセキュリティポリシー (Domain Controller Security Policy)] となります。 2 コンソールツリーで、[セキュリティ設定 (Security Settings)] > [ローカルポリシー (Local Policies)] > [セキュリティオプション (Security Options)] の順にクリックします。 3 詳細ペインで FIPS セキュリティ設定をダブルクリックします。 4 FIPS セキュリティ設定を有効化します。 5 [OK] をクリックします。 (注) Windows XP で FIPS を有効化した場合、アクセスエッジサーバのリモートデスクトップに問題が発生することがわかっています。この問題の解決策については、Access Edge に対してリモートデスクトップを実行できないを参照してください。
OCS/アクセスエッジサーバ	セキュリティ証明書の設定	<ul style="list-style-type: none"> • OCS サーバとアクセスエッジサーバの間のセキュリティ証明書を設定する必要があります。 • この手順を CA サーバが実行するようにする必要があります。 • これらのサーバ間のセキュリティ証明書を設定する方法の詳細については、Microsoft の文書を参照してください。

関連トピック

[企業内における Microsoft OCS/Lync とのドメイン間フェデレーションの設定](#)

AOL との SIP フェデレーションの要件

AOL フェデレーションのライセンス要件

IM and Presence と AOL の間のドメイン間フェデレーションを有効化できるようにするには、シスコから **AOL-FEDERATION SKU** ライセンスを購入する必要があります。このライセンス要求を送信すると、シスコでは、このトピックの後続の項に記載する AOL カスタマー ルーティングおよび連絡先情報をお尋ねします。お客様の AOL カスタマー ルーティングおよび連絡先情報が送信されると、IM and Presence と AOL の間での AOL フェデレーションが有効化されます。

関連トピック

[AOL ルーティング情報の要件, \(6 ページ\)](#)

[AOL プロビジョニング情報要件, \(7 ページ\)](#)

AOL ルーティング情報の要件

IM and Presence と AOL SIP Access Gateway の間のドメイン間フェデレーションを設定する場合、AOL に次の情報を提供する必要があります。

展開タイプ (Deployment Type)	(各ドメインに) 提供する情報	注意事項
ロード バランサなし	<ul style="list-style-type: none"> フェデレーション ルーティング IM and Presence サーバのパブリック FQDN : <sip.domain.com> IM and Presence サーバのドメイン名 : @<domain.com> 	<ul style="list-style-type: none"> IM and Presence サーバ証明書の件名 CN は、IM and Presence サーバの FQDN と一致する必要があります。 IM and Presence サーバ証明書に署名する CA は、AOL サーバによって信頼されている必要があります。

展開タイプ (Deployment Type)	(各ドメインに) 提供する情報	注意事項
ロード バランサ	<ul style="list-style-type: none"> ロード バランサの FQDN : <lb.domain.com> ロードバランサのドメイン名 : @<domain.com> 	<ul style="list-style-type: none"> IM and Presence サーバ証明書の件名 CN は、ロード バランサの FQDN と一致する必要があります。 IM and Presence サーバ証明書に署名する CA は、AOL サーバによって信頼されている必要があります。
	<ul style="list-style-type: none"> ドメインに使用される IM and Presence サーバのセキュア SIP フェデレーション ポート 	AOL SIP Access Gateway は、このポートの nslookup によって返される IP アドレスに (SSL 経由で) 接続します。デフォルトポートは 5061 です。

この情報を AOL に提供するにあたっては、シスコのサポート担当者と連携されることを推奨します。

AOL プロビジョニング情報要件

- エンタープライズまたは会社などの名前。
- フェデレーションに使用するドメイン名 (companyabc.com など)。
- フェデレーションに使用する IM and Presence サーバの FQDN。
- カスタマーの連絡先詳細：名前、電子メールアドレス、電話番号。
- 証明書のコピー：
 - 証明書が認証局によって署名されている場合、認証局の証明書のチェーン全体を含むルート証明書を提供する必要があります。
 - 証明書の base64 エンコーディングが必要です。次に例を示します。

```
BEGIN CERTIFICATE-----
MIIGKDCBRCgAwIBAgIKH5c9LAAIAAGTvjANBgkqhkiG9w0BAQUFADCBizETMBEG
CgmSJomT8ixkArkWA2NvbTEZMBcGCgmSJomT8ixkArkWCW1pY3Jvc29mdDEUMBIG.....
6HKfdML7AkW0V0Wiwc8HUB/0iFmfB24jWOnjj3NW15k0tDJXmbSMuAxjZ/2dZ4dA
4zd4FeZvoCzyVglPkoLvA0Z+AJyOkO7/tie4EF3n/kEedaPWimv2TpRrlAP51BXn
tbM82NpEDaSqzg0d4Dswqe7W30CKGgUBYS1fO7xJHSRju719D+H7XivmjvU= -----END
CERTIFICATE-----
```

この情報を AOL に提供するにあたっては、シスコのサポート担当者と連携されることを推奨します。